

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域振興部 地域振興課			
事業区分		継続事業		第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」		
事業名		節名称		予算額 (千円)		
元気な地域創造施設整備支援事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 7報償費 (①委員等謝礼)	90		
			② 8旅費 (②普通旅費)	7		
			③ 18負担金, 補助及び交付金 (⑥補助金 (建設単独))	10,000		
			④			
			⑤			
実施計画No,		76				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		10,097		
該当ページ		57 / 頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		
		59 / 頁			0	
		⑧ (⑥ + ⑦) 事業合計額 →		10,097		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	10,097	0	0	0	10,000	97
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	ふるさと創生基金				
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	全市的協働の取組となることを目標に, 地域資源を活かしながら, 元気な地域づくりなどによる地域活性化をめざし意欲的に取組む市民が, 地域の関係者等と連携した取組を推進するため, 事業の創業や展開をする上で必要となる施設整備を支援する。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費: 評価委員会委員謝礼 (委員長: 30千円×1人, 委員: 20千円×3人) ×1回 (90千円)</li> <li>・旅費: 事前協議など (7千円)</li> <li>・補助金: 補助率 1/2 以内, 上限10,000千円</li> </ul>					
別添資料 無  (一覧表/図面等)	 <p>三次青果の産直スーパーYotte-ne</p>		 <p>吉舎は福六! 元気拠点創造事業</p>			
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
地域資源を活かした, 元気な地域づくりや新たなチャレンジ, ツナガリ人口の拡大などにつながる公益性の高い事業に取り組むために必要となる施設整備に対し支援を行うことで, 地域活性化につながるため継続した。評価委員会により「まちづくりの観点」, 「事業の継続性」等の審査基準に基づき評価していただいているが, 令和5年度からは評価を数値化し評価結果が明確になるよう見直しを行う。						

款	項	目	担当部局・課名				
2	1	8	地域振興部 地域振興課				
事業区分		継続事業		第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」			
事業名			節名称			予算額 (千円)	
集落支援員事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 7報償費 (⑤その他報償費)	13,965		
				② 11役務費 (④手数料)	2		
				③			
				④			
				⑤			
実施計画No,		80					
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			13,967	
該当ページ		57 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
				⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			13,967
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和5年度 (予定)	13,967	0	0	0	0	13,967	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金						
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	希望する住民自治組織に集落支援員を配置し, 集落点検や地域での課題解決に向けた話し合いの促進, 空き家対策などの定住対策などを住民自治組織と連携して取り組んでいる。集落支援員同士の情報交換も活発に行われ, それぞれの地域において主体的に取り組まれている。引き続き, 住民自治組織と連携し, 住民自治組織が掲げるまちづくりビジョンの実現に向けた活動を支援していく。						
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費: 集落支援員報酬 14名分 (13,965千円)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・7,800円×5人×8日×12か月 (3,744千円)</li> <li>・7,800円×9人×12日×12か月 (10,109千円)</li> <li>・集落支援員保険料: 8,000円×14名 (112千円)</li> </ul> </li> <li>・役務費: 保険料振込手数料 (2千円)</li> </ul> ※令和4年度現在の集落支援員配置地区 (13地区) (河内, 川地, 和田, 神杉, 田幸, 川西, 君田, 布野, 作木, 吉舎, 三良坂, 三和, 甲奴)						
別添資料 無 (一覧表/図面等)	 <p>集落支援員活動状況</p>		 <p>集落支援員と移住コーディネーターとの連携</p>				
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)							
集落支援員の発想や取組により住民自治組織の活動が前向きに進んでいる地域もある。また, 集落支援員と移住コーディネーターが連携し取り組むことで空き家情報バンクの相談件数も増加している。このように, 集落支援員事業により, 地域の実情に応じた様々な活動が展開されるなど, 持続可能なまちづくりにおける役割は大きく, 効果も期待できることから継続事業とした。							

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域振興部 地域振興課			
事業区分		継続事業		第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」		
事業名		節名称		予算額 (千円)		
地域の未来づくりアドバイス事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 12委託料 (①業務委託料 (物件費) )	2,600		
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		2,600		
該当ページ	57 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0		
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		2,600		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	2,600	0	0	0	0	2,600
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	住民自治組織の現状から課題を把握するため, 各住民自治組織(19地区) の人口分析と人口推移シミュレーションを行い地域の状況の見える化を図り, 持続可能なまちづくりを推進している。分析結果を基に, 各地区において課題解決に向け, 女性の集いの場や若者との交流の場づくりなどに取り組みされる地域も出てきており, 引き続き, 同研究所により, 人口分析や希望する地区に対する取組の検証や助言等を実施し, 更なる取組に繋げていく。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>・委託料: 2,600千円</p> <p>【委託先】 一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 (所長: 藤山浩)</p> <p>【委託内容】 各住民自治組織 (19地区) ごとの人口分析及び人口シミュレーション 地域課題解決に向けた地区の取組の検証や助言 (2地区)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">フィードバック研修会</p> <p style="text-align: center;">現地研修会 (河内地区)</p>					
別添資料 無  (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
これまで実施してきた事業結果を踏まえ, 少しずつではあるが, 地区内で若者による「集いの場」の創出や地区内の団体との連携など, 新たな活動を始められた地区も出てきた。これらの活動を推進し, 他地区へ波及させていくためにも, 支援を希望する地域に対し, 専門家による検証や分析を行い, 特色を生かしたまちづくり活動を推進していく。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域振興部 地域振興課			
事業区分		継続事業 (内容見直し)		第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」		
事業名		節名称		予算額 (千円)		
自治振興活動費補助事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 18負担金, 補助及び交付金 (⑨交付金)	190,419		
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		79				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		190,419		
該当ページ		57 / 頁		⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		
		59 / 頁			0	
		⑧ (⑥ + ⑦) 事業合計額 →		190,419		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	190,419	0	0	0	188,424	1,995
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	地域振興基金 : 184,500千円, 協働のまちづくり事業助成金 : 3,924千円				
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	地域住民自ら地域の課題に対応し, 生涯学習の推進と地域活動の実践を通して地域活性化を図り, 住民自治のまちづくりを進めていく住民自治組織の活動を支援する。 交付金により支援を行うことで, 各地域においてまちづくりビジョン達成のための活動が推進されるとともに, 地域団体等との連携によるまちづくりに取り組まれる地域もあり, 持続可能なまちづくりに繋がっている。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	・交付金 : 190,419千円 (19住民自治組織) 内訳 : 別添資料のとおり  湖畔の森ウォーク (三良坂)  まちづくり研修会での意見交換					
別添資料 有  (一覧表/図面等)						
継続事業 > 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
令和4年度, 各住民自治組織にヒアリングを行い, 交付金制度の見直しを行っている。地域資源活用支援補助金の交付金への統合や事業の見える化を図るための選択事業の導入, 人件費の確保など, 地域課題の解決に取り組む住民自治組織に対する支援の充実を図っている。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域振興部 地域振興課			
事業区分		継続事業		第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」		
事業名		節名称		予算額 (千円)		
三良坂コミュニティセンター耐震化等事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 12委託料 (④調査測量設計監理等委託料)	3,500		
			② 14工事請負費 (①工事請負費)	68,000		
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		78				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		71,500		
該当ページ		59 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		
					0	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		71,500		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	71,500	9,149	0	62,300	0	51
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	地域防災拠点建築物整備緊急促進事業補助金				
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	三良坂コミュニティセンターは昭和48年4月建築で、一部耐震基準を満たしていない。また、経年劣化による雨漏りも発生している。利用者の安全・安心の確保を目的として、耐震化及び経年劣化部分等（屋外受電設備更新、屋上防水等）を改修する必要があるため、改修工事を行う。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料：三良坂コミュニティセンター耐震化等改修工事に係る工事監理業務委託（3,500千円）</li> <li>・工事請負費：三良坂コミュニティセンター耐震化等工事（68,000千円） （屋上防水、屋外受電設備の更新等）</li> </ul> ※三良坂コミュニティセンターの構造：鉄骨造2階建て、延べ床面積：1,404㎡					
別添資料 無  (一覧表/図面等)	 <p style="text-align: center;">三良坂コミュニティセンター全景</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点（ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など）または、継続としたその主な理由（要綱等の定め、費用対効果が大きい、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など）						
令和4年度耐震化等改修工事に係る設計委託業務の成果に基づき耐震化等工事を実施するもの。						

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域振興部 地域振興課			
事業区分		継続事業		第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」		
事業名		節名称		予算額 (千円)		
ウチソト“ツナガリ”つなぐ事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 7報償費 (②講師謝礼)	162		
			② 7報償費 (⑤その他報償費)	3		
			③ 8旅費 (②普通旅費)	83		
			④ 10需用費 (①消耗品費)	20		
			⑤ 11役務費 (①通信運搬費)	15		
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		283		
該当ページ		59 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		
					0	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		283		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	283	0	0	0	283	0
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	<p>これまで、市内高校生と地縁型・目的型コミュニティや事業者との「つながりの場」を創出。これをきっかけに高校生の提案の実現や事業者、行政、関係機関との連携した取組が生まれ、地域課題の解決、地域活動の担い手の育成につながっている。また、県内大学との連携により、大学生と地縁型・目的型コミュニティをつなげる場を設け、つながり人口の拡大に向けて取組を行ってきた。今後も市内高校生や県内大学生等と各コミュニティとを繋ぐ取組を継続実施し、ツナガリ人口の拡大に取り組む。</p>					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費：講師謝礼：162千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生等受入団体講師謝礼 6,111円×10団体 (62千円)</li> <li>・研修会講師謝礼 100,000円×1回 (100千円)</li> </ul> </li> <li>・報償費：その他報償費 中学生まちづくり作文表彰記念品 1,000円×3人 (3千円)</li> <li>・旅費：協議、先進地視察研修など (83千円)</li> <li>・消耗品費：事業実施に係る消耗品購入 (20千円)</li> <li>・通信運搬費：事業実施に係る郵送料 (15千円)</li> </ul>					
別添資料 無 (一覧表/図面等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>住民自治組織と大学生との交流</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>まちづくり講演会 (出羽地区の取組)</p> </div> </div>					
<p>継続事業&gt; 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>						
<p>市内高校生と地縁型・目的型コミュニティや事業者との「つながりの場」の創出については、一定の効果が見られ、関係が継続していることを踏まえ、このような継続した関りを、市内だけではなく市外の人も含めて広げていけるよう、例えば大学生と地縁型・目的型コミュニティや事業者をはじめとした方々が、つながるきっかけとなる場の創出に取り組む。</p>						

款	項	目	担当部局・課名	地域振興部 定住対策・暮らし支援課	
2	1	8			
事業区分		継続事業		第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」	
事業名		節名称		予算額 (千円)	
みよし暮らし推進事業 (移住者支援)		事業 (経費) 内の主たる費目	① 7報償費 (⑤その他報償費)	2,520	
			② 8旅費 (②普通旅費)	125	
			③ 12委託料 (①業務委託料 (物件費))	500	
			④ 18負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費))	368	
			⑤ 18負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	28,920	
実施計画No,	54				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →	32,433	
該当ページ	61 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		330	
	63 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		32,763	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度 (予定)	32,763	0	0	0	0
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	移住・定住ポータルサイトによる情報発信や, 移住コーディネーターによる相談窓口の設置を行い, 移住希望者への丁寧なサポートを行う。また, 住居への支援等や, みよし暮らしを体験するための宿泊費を助成することで, 本市への移住・定住の促進を図る。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/ 図面等	<p>【報償費】 2,520千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 移住コーディネーター報償費 210千円/月×12か月×1人 = 2,520千円</li> </ul> <p>【旅費】 125千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 移住相談会に係る旅費 125千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京会場×2回 90千円</li> <li>・大阪会場×1回 35千円</li> </ul> </li> </ul> <p>【委託料】 500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報発信業務委託料 500千円</li> </ul> <p>【負担金, 補助及び交付金】 29,288千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費)) 368千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと回帰支援センター負担金 50千円</li> <li>・ふるさと回帰支援センター出展料 242千円</li> <li>・広島県交流・定住促進協議会負担金 76千円</li> </ul> </li> <li>● 負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 28,920千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者住宅取得奨励金 150千円×50件 = 7,500千円 移住者 (2年以上市外に在住, 転入し3年以内) が住宅を取得した際に奨励金を交付</li> <li>・Uターン者実家等改修補助金 (R3平均) 500千円×25件 = 12,500千円 実家等の所有者が3親等以内の親族がUターン等するために, 実家等を改修する際の費用の一部を補助</li> <li>・空き家バンク改修補助金 (R4平均) 800千円×10件 = 8,000千円 空き家情報バンクに登録されている物件を購入し, 改修する際の費用の一部を補助</li> <li>・みよし暮らし体験支援事業宿泊助成金 1千円/泊×4人×10組×3泊 = 120千円 農家民泊のみよし暮らしを体験する移住希望者に対し, 宿泊費の一部を補助</li> <li>・移住コーディネーター活動補助金 800千円/年×1人 = 800千円</li> </ul> </li> </ul>				
別添資料	無				
(一覧表/ 図面等)					
<p>継続事業 &gt; 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>令和4年度は, 新型コロナウイルス感染症による行動制限も, これまでより緩和されたことから, 東京や大阪の大型フェアへ出展し, 移住希望者に対してリアルでの相談を受け付けた。“三次市”という名前をまずは知ってもらうためにも令和5年度も引き続き, 出展をしていく。補助金については, 令和5年度までの要綱のため今後も引き続き継続する。</p>					



三次市独自セミナーを観光イベントと同日に開催

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域振興部 定住対策・暮らし支援課			
事業区分		継続事業		第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」		
事業名		節名称		予算額 (千円)		
地域おこし協力隊事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 7報償費 (⑤その他報償費)	8,388		
			② 18負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	4,800		
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		55				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		13,188		
該当ページ		61 / 頁		⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		
		63 / 頁				
		⑧ (⑥ + ⑦) 事業合計額 →		13,188		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	13,188	0	0	0	0	13,188
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	人口減少・少子高齢化が進む本市において、都市部などの地域外から移住した地域おこし協力隊員が地域活動や農業などへ従事しながら、地域に溶け込み、最終的には定住・定着を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【報償費】 8,388千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域おこし協力隊 233千円/月×12か月×3人 = 8,388千円</li> </ul> <p>【負担金, 補助及び交付金】 4,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域おこし協力隊活動補助金 1,600千円/年×3人 = 4,800千円</li> </ul>					
別添資料 無 (一覧表/図面等)	 <p>新規就農のため、農業研修を受ける地域おこし協力隊員</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業は、地域の活性化や農業の担い手不足の解消、本市への定住・定着につながる仕組みであり、継続して実施する必要がある。令和5年度は、任期終了後新規就農をめざす隊員3人を4月から委嘱予定。また、協力隊に関する特別交付税の上限額が増額していることに伴い、県内市町の隊員の報償費も増額していることから、200千円/月→233千円/月に変更予定。						



款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域振興部 定住対策・暮らし支援課			
事業区分		継続事業		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」		
事業名			節名称			予算額 (千円)
縁つなぐ出会い創出支援事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	①	18負担金, 補助金及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	1,200
				②		
				③		
				④		
				⑤		
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			1,200
該当ページ		63 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
		/ 頁	⑧ (⑥ + ⑦) 事業合計額 →			1,200
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	1,200	0	0	0	1,200	0
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金				
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	少子化の要因の一つである未婚化, 晩婚化の進行に歯止めをかけること及び定住促進を目的として, 多様な出会いの場を積極的に創出する事業を行う市内結婚支援団体に対し, 補助金を交付する。					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【負担金, 補助及び交付金】 1,200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 縁つなぐ出会い創出支援事業補助金 400千円×3団体 = 1,200千円</li> <li>・補助率 2分の1 (上限額 1団体 400千円/年)</li> </ul> <p>参加者の定員規模により補助上限額を設定し, 400千円の上限まで①~④を組み合わせで実施可能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 定員50人以上 : 400千円</li> <li>② 定員30~49人 : 300千円</li> <li>③ 定員10~29人 : 200千円</li> <li>④ 定員9人以下 : 100千円</li> </ul>					
別添資料 無  (一覧表/図面等)						
<p>継続事業&gt; 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>少子化の要因の一つである未婚化, 晩婚化の進行に歯止めをかけるため, また, 結婚希望のある独身者の独身である理由に「出会いがない」ということも多く挙げられることから, 若い世代の交流する場を設けている結婚支援団体への活動支援は必要である。</p> <p>令和4年度には, これまで申請のなかった新しい団体からの補助申請もあり, 需要を感じている。また, 本補助金の要綱は令和5年度までの要綱のため, 今後も引き続き継続する。</p>						

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域振興部 定住対策・暮らし支援課		
事業区分		継続事業（拡充）		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」	
事業名		節名称		予算額（千円）	
JR芸備線・福塩線利用促進事業		事業（経費）内の主たる費目	① 12委託料（①業務委託料（物件費））	4,000	
			② 18負担金，補助及び交付金（①負担金（補助費））	1,191	
			③ 18負担金，補助及び交付金（⑤補助金（補助費））	5,000	
			④		
			⑤		
実施計画No,		35			
* 三次市予算に関する説明書		⑥（①～⑤の計）		➔ 10,191	
該当ページ		63 / 頁		⑦その他の節など（上記以外）の合計額 * 該当なし"0"を挿入 ➔ 0	
		65 / 頁		⑧（⑥+⑦）事業合計額 ➔ 10,191	
歳入に関する項目	予算額（千円）	特定財源内訳（千円）			
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度（予定）	10,191	0	1,500	0	0
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金	鉄道NWを活かした中山間地域の魅力向上事業費補助金			
	負担金				
事業内容及びその目的（めざすもの）	地域間幹線交通であるJR芸備線・福塩線について，利用者が減少傾向にあることから，沿線自治体と連携し，その利用拡大と利用促進に向けた事業を行い，路線の維持と沿線地域の活性化を図る。				
事業の積算根拠等  （詳細説明） 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>【委託料】 4,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● JR線利用促進事業業務委託料 4,000千円 JR線をはじめとした公共交通の利用促進に係る業務委託料</li> </ul> <p>【負担金，補助及び交付金（負担金）】 1,191千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 芸備線対策協議会負担金（広域都市圏分を含む） 972千円 芸備線沿線自治体（広島市，安芸高田市，三次市，庄原市）で構成する協議会による芸備線の利用促進策の実施に係る負担金</li> <li>● 福塩線対策協議会負担金 219千円 福塩線沿線自治体（福山市，府中市，世羅町，三次市）で構成する協議会による福塩線の利用促進策の実施に係る負担金</li> </ul> <p>【負担金，補助及び交付金（補助金）】 5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域間幹線公共交通機関利用促進事業補助金 5,000千円 どっちも割きつぱの販売に対する補助金</li> </ul>				
別添資料	無				
	（一覧表/図面等）				
 <p>三次高校で実施したJR線利用促進ワークショップ（リーフレット）</p>  <p>どっちも割きつぱ（チラシ）</p>  <p>利用促進イベントチラシ（芸備線対策協議会）</p>					
継続事業 > 過去実績を検証して，変更した点（ICTの導入，DX等による手続きの簡素化，事業内容見直し，対象者拡大など）または，継続としたその主な理由（要綱等の定め，費用対効果大きい，対象が限定的，地域等との協議に基づく取組など）					
JR線の利用促進については，より効果的で利用拡大につながる事業となるよう検討している。令和5年度においては，沿線各市との連携を密にし，アンケート事業や調査事業を行い，鉄道の利用実態を把握するとともにパーク＆ライド事業など日常的な利用促進策の実施により，公共交通全体の利用者の増加及び沿線地域の活性化を図るため，事業を展開する。					

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	8	地域振興部 定住対策・暮らし支援課			
事業区分		継続事業		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」		
事業名		節名称		予算額 (千円)		
生活交通確保対策事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 12委託料 (①業務委託料 (物件費) )	53,647		
			② 18負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費) )	6,400		
			③ 18負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費) )	197,932		
			④ 19扶助費 (①扶助費)	3,000		
			⑤			
実施計画No,		34				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		260,979		
該当ページ		63 / 頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		
		65 / 頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		
				271,237		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	271,237	0	5,838	0	0	265,399
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金	市町等運行路線再編促進費補助金				
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	地域公共交通計画に基づき、通勤や通院、通学、買い物といった市民の日常生活に係る移動手段を維持・確保するため、路線バスに対する運行支援や市民バスの運行业務委託を行うほか、相乗りタクシー事業による公共交通空白地の解消を図る。					
事業の積算根 拠等  (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>【委託料】 53,647千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民バス運行业務委託料 53,647千円 三次市民バス (君田町, 布野町, 作木町, 吉舎町, 三和町, 甲奴町内を運行) の運行业務委託料</li> </ul> <p>【負担金, 補助及び交付金】 204,332千円</p> <p>①負担金 (補助費) 6,400千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●三次市地域公共交通会議負担金                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次市地域公共交通計画に係る事業の実施 (路線バス・市街地循環バス・市民バスの運行改善, バスの乗り方教室の実施といった利用促進策の実施など)</li> <li>・自家用有償運送 (さくぎニコニコ便) の運行支援</li> </ul> </li> </ul> <p>⑤補助金 (補助費) 197,932千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活交通維持対策補助金                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス (備北交通, 中国バス, 十番交通, 君田交通) の運行維持に係る補助金</li> <li>・ふれあいタクシーみらさか (三次広域商工会) の運行維持に係る補助金</li> </ul> </li> </ul>					
	 <p>三次市民バス</p>  <p>市街地循環バス「くるん」</p>  <p>相乗りタクシー利用助成券</p>					
別添資料	【扶助費】 3,000千円					
有	●相乗りタクシー事業助成費 3,000千円					
(一覧表/ 図面等)	公共交通空白地の解消を図るため、バス停等から一定以上離れた地域の住民を対象に、タクシー助成を行う 1件あたりの平均助成額40千円×申請見込件数75件 = 3,000千円					
継続事業 > 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業は、市民の日常生活に欠くことのできないライフラインである移動手段の維持・確保を目的としたもので、継続して実施する必要がある。 地域公共交通計画に定めるPDCAサイクルの下、バス路線の見直しや利用促進策の実施に向けた検討を行っている。						

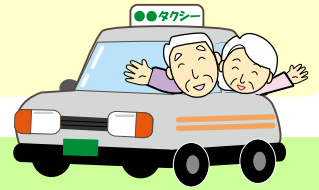
## 三次市相乗りタクシー事業(案)

# 「相乗りタクシー利用助成券」申請のご案内

### 【三次市相乗りタクシー事業とは】

バスや鉄道が走っていない地域の住民を対象に、タクシーを公共交通としてバスや鉄道代わりに複数人で利用する方へ、料金の一部を助成するものです。

※要件に該当する方へ助成券を発行します。



## ■ 交付を受けられる要件

● 次の要件を満たす方が、助成券の交付を受けられます。

- ・ 20 歳以上の方
- ・ 最寄りのバス停や駅から 700m以上離れた場所に住み、次（イ、ロ）のいずれかの要件を満たす方 ※場所の基準はご自宅となります。  
(旧三次市管内のみ)
  - イ) 運転免許を持っていない人で、他に交通手段を持たない人
  - ロ) 運転免許を持っているが、利用できる自動車・バイクがない人

## ■ 助成券の申請方法

● 「相乗りタクシー利用助成券」の交付を希望する場合は、交付申請書（別紙）に必要事項を記入して、次のところに提出してください。

<提出先・お問い合わせ先>

三次市 地域振興部 定住対策・暮らし支援課  
〒728-8501 三次市十日市中二丁目8番1号  
電話(0824)62-6129



## ■ 助成券の受取方法

● 申請者が必要な要件を満たしているかを審査し、要件に該当することが確認できたら、「相乗りタクシー利用助成券」を郵便でご自宅にお送りします。

## ■助成券の金額

●バス停や駅までの距離に応じて、次の金額を助成します。

ご自宅から、いちばん近い バス停や駅までの距離	助成券の交付枚数（金額） ※4月～6月に申請した場合
700m 以上 2km 未満	1年間に <b>300円券</b> × <b>100枚</b> (30,000円分)
2km 以上	1年間に <b>300円券</b> × <b>200枚</b> (60,000円分)

※申請する月により助成する金額は異なります。

※三次市福祉タクシー等事業の対象者の方には、当該助成額を除いた額を助成します。

## 「三次市相乗りタクシー利用助成券」の使い方

○2人以上（ご家族でも可）でタクシーを利用する。



○タクシーを降りる時の運賃の支払いの際に、助成券を渡す。

※1回に利用できるのは1人2枚（300円×2枚）まで

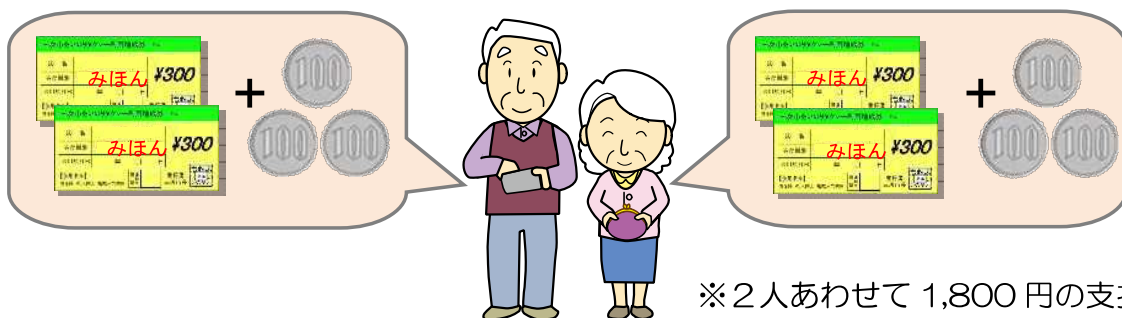


○不足分は現金で支払う。

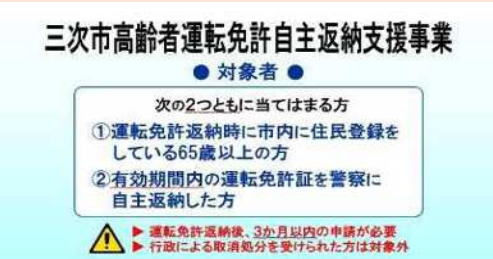
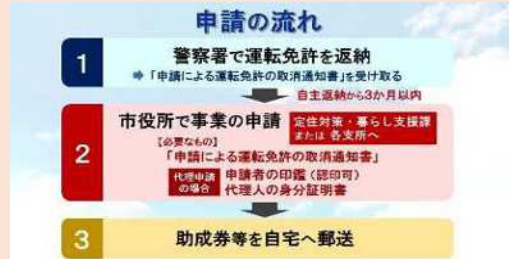


### （例えば）助成券を持つ2人が同乗して、運賃が1,800円の場合

- 助成券が使える枚数は1回あたり1人2枚（600円分）なので、2人が同乗した場合は4枚（1,200円分）使えます。
- そのため現金での支払いは、足りない600円（1人300円）です。



※2人あわせて1,800円の支払い

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域振興部 定住対策・暮らし支援課		
事業区分		継続事業		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」	
事業名		節名称		予算額 (千円)	
高齢者運転免許自主返納支援事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 19扶助費 (①扶助費)	2,180	
			②		
			③		
			④		
			⑤		
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		2,180	
該当ページ		65 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		
			2,180		
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度 (予定)	2,180	0	0	0	0
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	高齢ドライバーの交通事故防止と公共交通機関の利用促進を図るため、運転免許を自主的に返納した65歳以上の高齢者に対し、タクシー利用助成券など公共交通利用促進に係る支援を実施する。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【扶助費】2,180千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者運転免許自主返納支援事業助成費 2,180千円</li> </ul> <p>運転免許を自主的に返納した高齢者に対し、次のうちいずれか一つを交付する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 市民バス等無料利用者証 (2年度間有効)</li> <li>② 広島県交通系ICカードPASPY (1万円分・有効期限なし)</li> <li>③ 市内タクシー利用助成券 (1万円分・3年度間有効)</li> </ol> <p>令和5年度申請見込件数：290件</p> <p>※タクシー券は3年度間にわたって利用可能であり、利用年度における執行見込額で積算するため、支援金額×申請見込件数と予算額とは一致しない。</p>				
別添資料	 				
無	実施した広報 (ピオネット：市役所ほっとニュース)				
(一覧表/図面等)					
継続事業 > 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大き, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
本事業は高齢者が運転免許を自主的に返納するためのきっかけとなる事業で、三次警察署とも連携して推進している取組である。					

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	9	地域振興部 定住対策・暮らし支援課			
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
事業名		節名称		予算額 (千円)		
高校生国際理解支援事業 (旧事業名：グローバル人材育成事業)		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 18負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	900		
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		900		
該当ページ	67 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0		
		⑧ (⑥ + ⑦) 事業合計額 →		900		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	900	0	0	0	0	900
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	高校生国際理解支援事業補助金：市内高等学校での国際交流活動等とおして、語学力の向上や異文化への理解を育み、国際感覚豊かな人材の育成を支援。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【負担金, 補助及び交付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生国際理解支援事業補助金 900千円</li> <li>市内高等学校での国際交流活動等とおして、語学力の向上や異文化への理解を育み、国際感覚豊かな人材の育成を支援するための活動費の一部を補助する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1高等学校当たり600千円上限</li> <li>・海外派遣事業は補助率1/2, 1人当たり100千円上限</li> <li>・その他の国際交流事業は1事業当たり200千円上限</li> </ul> </li> </ul> <p>(積算の根拠) 市内3高等学校×300千円 = 900千円</p>					
別添資料 無 (一覧表/図面等)	 <p>R4 広島県立日彰館高等学校「吉舎おもてなしプラン」</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
従来の「グローバル人材育成事業」という名称から、より内容に即したものとするため「高校生国際理解支援事業」に名称を変更した。三次市の未来を担う人材を育成していくために、高校生を対象とした国際交流活動への支援を行う事業として令和3年度から実施しており、継続した支援が必要である。						

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	5	地域振興部 定住対策・暮らし支援課			
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
事業名		節名称		予算額 (千円)		
男女共同参画推進事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 12①業務委託料 (物件費)	880		
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		880		
該当ページ	95 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0		
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		880		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	880	0	0	0	0	880
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	男女共同参画社会の実現に向け、国際女性デーや男女共同参画週間などを中心として啓発事業を実施。 ・男女共同参画週間 6月23日~29日 ・国際女性デー 3月8日					
事業の積算根 拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	【委託料】 ・啓発業務委託料 880千円 男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業の実施に係る委託料 (積算等の根拠) 男女共同参画推進講演会講師派遣事業 (保育所PTA・住民自治組織) 33千円×10回 = 330千円 国際女性デーや男女共同参画週間などにおける啓発業務委託料 (2回分) 550千円					
別添資料 無						
(一覧表/ 図面等)	 <p>男女共同参画推進講演会</p>		 <p>男女共同参画パネル展示</p>			
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など) 「三次市男女共同参画基本計画 (第4次) ~一人ひとりがしあわせな社会をめざして~」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業を実施していくものである。啓発事業の実施に当たっては、関係団体等とも連携を図り、開催方法やテーマ、内容を工夫する等効果的な啓発となるよう検討し実施する。また、継続した取組が必要であることから、パネル展示や広報紙、ホームページ、CATV等を活用し、男女平等意識の醸成のための広報啓発活動に引き続き取り組む。						



款	項	目	担当部局・課名			
7	1	2	地域振興部 定住対策・暮らし支援課			
事業区分		新規事業	第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」			
事業名		節名称		予算額 (千円)		
女性活躍推進プラットフォーム事業 (アシスタ lab.)		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 12委託料 (①業務委託料 (物件費) )	10,000		
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,		41				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		10,000		
該当ページ		151 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			
		/頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			
			10,000			
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	10,000	2,500	0	0	7,500	0
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	地域女性活躍推進交付金				
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰入金				
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	それぞれのライフスタイルに合わせた多様な働き方の選択やチャレンジを支援し、女性の「働く」を応援する環境整備の一環として、女性活躍推進プラットフォーム「アシスタlab.」を開設し、女性の起業・就業支援を実施					
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【委託料 (①業務委託料 (物件費) )】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性起業・就業支援業務委託料 10,000千円</li> </ul> <p>女性活躍推進プラットフォーム事業として、起業セミナー・就職セミナー (8回程度) , 専門家による個別相談 (12回程度) , 交流会・イベント等の実施 (5回程度) , 常駐コーディネーターの配置などを委託</p>					
別添資料 無  (一覧表/ 図面等)						
	創業セミナー		交流会			
<p>継続事業&gt; 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>						
<p>会員数は昨年度から46人増加し441人 (1月末時点) , みよしアントレーヌ認定件数は, 12件増加し累計80件 (3月認定含む。) に上り, 女性の起業・就業に寄与している。また, コーディネートや交流会等の開催により会員同士の繋がりが生まれ, 事業の拡大につながったケースも生まれており, 起業後の支援も継続して行っていく。</p>						

款	項	目	担当部局・課名		
10	5	5	地域振興部 地域振興課		
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」	
事業名		節名称		予算額 (千円)	
スポーツのまちみよし応援事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 18負担金, 補助金及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	10,600	
			②		
			③		
			④		
			⑤		
実施計画No,		20			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		10,600	
該当ページ		197 / 頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	
				0	
				⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →	
				10,600	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度 (予定)	10,600	0	0	0	10,600
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金	スポーツ・文化みよし夢基金			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	<p>全ての人々がそれぞれのライフステージに応じたスポーツとのかかわり方を考え、「いつでも」、「どこでも」、「誰も」が普段の生活の中で自然とスポーツに親しみ、健康でいきいきと活力あふれる「スポーツのまちみよし」を実現することを目的に、「スポーツのまちみよし応援事業実行委員会」が中心となり、関係団体等との連携により各種スポーツの推進に係る取組を行う。</p>				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>・補助金 (補助費) : スポーツのまちみよし応援事業補助金 10,600,000円 ※女子野球ワールドカップ誘致 (7,000,000円) は別途計上</p> <p>【事業内容】</p> <p>①地元チームを応援 : 500,000円 県内トップチームの試合を「みる」機会の提供等を行い、スポーツを始めるきっかけ作りと交流の継続を図る。</p> <p>②子どもの夢を応援 (トップアスリートとの交流等) : 1,530,000円 子どもたちを対象としたスポーツ体験企画、子どもたちが継続してスポーツができる仕組みづくりのほか、子どもたちの夢を応援するため、プロ選手やトップアスリートによるスポーツ教室、交流事業などの開催や支援を行う。</p> <p>③スポーツ大会・合宿誘致 : 4,900,000円 (※女子野球ワールドカップ誘致は別途計上) 全国規模の大会・合宿等の誘致を行い「みる」機会を創出するとともに、地域や小中学校・高校とのスポーツを通じた交流人口の拡大を図る。 また、各地域の施設を利用した大会・合宿等の誘致を行い、施設の稼働率の向上と地域活性化を図る。</p> <p>④女子スポーツ応援 : 1,950,000円 野球やサッカーなど、中学生になっても続けたいという女子児童・生徒の思いを応援するとともに、女性活躍の場の創出・確保を目的に、女子スポーツの推進を図ることにより、関係人口の拡大と地域活性化を図る。</p>				
別添資料	⑤Sport in Life推進 (スポーツの習慣化等) : 30,000円				
無	市民がライフステージに応じた運動・スポーツを習慣化するきっかけ作りを目的とした取組を行う。				
(一覧表/図面等)	⑥その他 : 1,690,000円 「三次版スポーツコミッション」の設立や中学校の地域部活動への移行等に係る検討及び必要な対応を行う。				
<p>継続事業 &gt; 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>現在、「スポーツのまちみよし応援事業実行委員会」を中心とした取組を進めているが、官民の連携が十分に機能しておらず、事業効果が限定的な状況であることから、令和4年度に関係団体等から選出されたメンバーにより「三次版スポーツコミッション」の具体化等を図るためのワークショップを開催し、まちの強みや課題、短期的・中期的取組事項及び社会関係資本等を整理し、今後のビジョンや方針を取りまとめた。令和5年度は、この内容を踏まえて取組の見直しを行うとともに、三次版スポーツコミッション設立に向けた検討・準備を進める。</p>					

款	項	目			
10	5	5	担当部局・課名	地域振興部 地域振興課	
事業区分		新規事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
事業名		節名称		予算額 (千円)	
女子野球ワールドカップ誘致事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 18負担金, 補助金及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	7,000	
			②		
			③		
			④		
			⑤		
実施計画No,		20			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計)		→ 7,000	
該当ページ		197 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 → 0		
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 → 7,000		
歳入に関する項目	予算額 (千円) (③)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度 (予定)	7,000	0	0	0	7,000
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金	スポーツ・文化みよし夢基金			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	「女子野球タウン」としての知名度向上とあわせて、女性活躍の推進や関係人口の拡大を図ることなどを目的として、女子野球ワールドカップを誘致する。受入れにあたっては、「スポーツのまちみよし応援事業実行委員会」を中心とする関係団体の連携により開催支援及び交流事業等を行う。これまでの「女子野球タウン」としての取組を評価されての開催決定であり、この機会を最大限に活用し、「女子野球の聖地」の実現につなげていくことをめざす。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>・補助金 (補助費) : スポーツのまちみよし応援事業補助金 7,000,000円 ※その他, 継続事業 (10,600,000円) は別途計上</p> <p>【事業内容】 ※詳細は別添資料参照</p> <p>「第9回WBSC女子野球ワールドカップ グループラウンドB in 三次」誘致に係る開催支援及び交流事業等の実施</p> <p>・期 間 令和5年9月13日 (水) ~17日 (日) (予備日: 令和5年9月18日 (月・祝))</p> <p>・会 場 三次市みよし運動公園野球場「三次きんさいスタジアム」</p> <p>・主 催 世界野球ソフトボール連盟 (WBSC)</p> <p>・参加国 各大陸予選を勝ち抜いた6つの国と地域 (令和5年6月決定予定)</p> <p>【事業費内訳】</p> <p>・開催地負担金 5,000,000円</p> <p>・その他, 歓迎レセプション, 広報・記録映像制作・消耗品等 2,000,000円</p>				
別添資料	有				
(一覧表/図面等)	 <p>R4.10 侍ジャパン女子代表候補強化合宿 歓迎レセプションでの記念撮影</p>  <p>R4.10 侍ジャパン女子代表候補強化合宿 アントレーヌ交流事業の様子</p>				
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					

## 女子野球タウン 広島県三次（みよし）市にて 第9回 WBSC 女子野球ワールドカップ 開催決定！

世界野球ソフトボール連盟（WBSC）が主催する、女子野球の最高峰の大会である、第9回 WBSC 女子野球ワールドカップのグループラウンド B が、女子野球タウンである広島県三次市にて開催されることが決定しました。

2020年12月に女子野球タウン第二号認定された同市には、国際大会にふさわしいグレードの高い「三次きんさいスタジアム」があり、今回のワールドカップグループラウンド B の会場となります。大陸予選を勝ち抜いた6つの国と地域を代表するチームが三次に集結し、来年カナダで行われるワールドカップファイナル出場をかけて、2 枠を競います！

侍ジャパン女子代表は現在ワールドカップ6連覇中。これまで2年に1回開催されていた同大会はフォーマットが4年サイクルに変更となりました。（次頁参照）

2020年にメキシコで予定されていた大会が中止となり、コロナ禍で女子野球の国際大会が全く実施できていなかった中、5年ぶりのワールドカップとなります。そして日本開催！

世界の女子野球をぜひ日本で感じていただきたいと思います。

- 大会名： 第9回 WBSC 女子野球ワールドカップ（グループラウンド B）  
期間： 2023年9月13日(水)～9月17日(日) 予備日9月18日(月・祝)  
会場： 三次きんさいスタジアム（広島県三次市東酒屋町10493番地）  
主催： 世界野球ソフトボール連盟  
参加国： 各大陸予選を勝ち抜いた6つの国と地域

〇〇〇 三次市 福岡 誠志（ふくおか さとし）市長コメント 〇〇〇

女子野球の最高峰の大会である WBSC 女子野球ワールドカップの開催地に本市を選んでいただき誠にありがとうございます。

世界各地から代表として三次に来られる選手の皆様、関係者の皆様に、心から歓迎します。

世界トップクラスの選手の皆さんが本市に集うことは、「スポーツのまちみよし」を掲げ、女性の活躍を応援するとともに、女子野球の聖地をめざす本市にとって、大変光栄なことであり、千載一遇の機会であると捉えています。

この大会が、選手をはじめ、関係する全ての皆様にとって有意義なものとなり、女子野球のさらなる盛り上げにつながるよう、本市を挙げて取り組んでまいります。

## WBSC 女子野球ワールドカップについて

### <大会フォーマットについて>

IFである、世界野球ソフトボール連盟（WBSC）が主催する大会。これまで2年に1度開催されていたが、昨年度より、以下の4年サイクルに変更。

- 1年目：大陸予選
- 2年目：W杯グループラウンド（2か所）
- 3年目：W杯ファイナル
- 4年目：OFF

今回日本での開催は、W杯グループラウンドBとなり、グループラウンドAは、2023年8月8日～13日カナダ・サンダーベイで開催される。大陸予選を勝ち抜いた12の国と地域は、6チームずつ分かれて各グループラウンドに臨む。

各グループ6チームのうち上位2チームがファイナルラウンドへの出場権を得ることができる。

ワールドカップファイナルは各グループの上位2チームずつの計4チームとワイルドカードの2チームの合計6チームで実施される予定。

ファイナルラウンドは2024年に、グループラウンドAと同じ、カナダ・サンダーベイで開催が決定している。

現在アジア大陸予選以外の各大陸予選は既に終了しており、以下の国が予選を通過している。

- 1) フランス 2) ベネズエラ 3) プエルトリコ 4) メキシコ 5) キューバ 6) オーストラリア
- 7) カナダ 8) ワイルドカード（未定） 残り4は、アジア枠。

グループラウンドの試合形式は、6チームによる総当たり戦。

≪報道関係者専用、お問い合わせ窓口（一般への公表不可）≫

三次市地域振興部地域振興課（担当／田村・倉川）

電話番号：0824-62-6553 FAX 番号：0824-62-6235

E-mail：[sports@city.miyoshi.hiroshima.jp](mailto:sports@city.miyoshi.hiroshima.jp)

全日本女子野球連盟 [wbfjpress@gmail.com](mailto:wbfjpress@gmail.com)

款	項	目	担当部局・課名				
10	6	1	地域振興部 地域振興課				
事業区分		継続事業 (拡充)		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」			
事業名			節名称			予算額 (千円)	
第 2 期三次市スポーツ推進計画策定事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 1報酬 (③非常勤職員報酬)	441		
				② 7報償費 (②講師謝礼)	600		
				③ 12委託料 (①業務委託料 (物件費))	3,000		
				④			
				⑤			
実施計画No,							
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			4,041	
該当ページ			197 /頁			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	0
			199 /頁				
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			4,041	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (③)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和5年度 (予定)	4,041	0	0	0	0	4,041	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金						
事業内容及びその目的 (めざすもの)	令和 5 年度末で三次市スポーツ推進計画の計画期間の終期を迎えることに伴い、第 2 期の三次市スポーツ推進計画を策定するもの。令和4年度に実施したアンケート調査結果を踏まえ、現計画の検証を行うとともに、国の第 3 期スポーツ基本計画 (令和 4 年 3 月策定) や策定中の第 3 期三次市総合計画等との整合を図りながら、スポーツ施策の見直しを行い、「スポーツのまちみよし」の実現をめざした取組を推進する。						
事業の積算根拠等  (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤職員報酬：スポーツ推進審議会委員報酬 441,000円 委員長 1 人×30,000円× 3 回, 委員15人×7,800円× 3 回</li> <li>・講師謝礼：スポーツ推進計画策定に係るアドバイザー謝金 600,000円 アドバイザー 1 人×100,000円× 6 回</li> <li>・業務委託料 (物件費)：スポーツ推進計画策定業務委託料 3,000,000円</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <p>令和4年度に実施したアンケート調査結果を踏まえ、現計画の検証を行うとともに、専門知識を有するアドバイザー等の支援を受けながら、計画案を取りまとめ、三次市スポーツ推進審議会への諮問・答申を経て、第 2 期三次市スポーツ推進計画を策定する。</p>						
別添資料	無						
(一覧表/ 図面等)	 <p>R4.12 スポーツ推進委員による「ふうせんバレー大会」の様子</p>						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)							
令和 4 年度は、18歳以上の市民 (2,000人) 及び中高生 (734人) を対象にアンケート調査を実施しており、その調査結果を分析した上で、現計画の検証を行い、国の第 3 期スポーツ基本計画 (令和 4 年 3 月策定) や策定中の第 3 期三次市総合計画等との整合を図るとともに、令和 4 年度に実施した「三次版スポーツコミッション」の具体化等を図るためのワークショップのまとめや中学校の地域部活動への移行等も勘案しながら、第 2 期計画の策定作業を進め、令和 6 年 3 月の策定をめざす。							